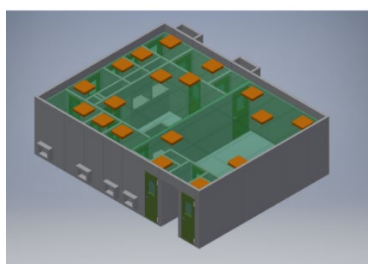


ローツェライフサイエンスが 10 億円の設備投資！

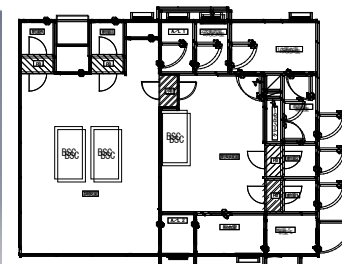
ローツェライフサイエンス株式会社(茨城県つくば市)は、この度延べ床面積 8 倍（既存比）の元研究施設を取得し、本年 5 月に移転。従来の細胞培養操作における単体自動化製品に加え、複数機器を管理・統合した培養設備全体の設計・開発を本格的に進める環境が整った。



画像①単体自動化製品の例 (全自動培地交換システム)



画像②③細胞培養設備の例(複数のシステム機器と処理室を導入した空間)



これまでローツェライフサイエンスは、創薬研究・再生医療に必要な細胞培養操作用ロボティックインキュベーター(細胞培養装置)や自動培地交換システムなど単体製品を中心にお客様(大学、製薬企業等の研究機関)へ納める事業を展開してきた。

2020 年より、スケジューリングソフトウェア：Green Button Go™（※Biosero 社製・以下 G B G）の販売を本格的に開始。複数の機器がそれぞれにおこなっていたプロセスを GBG によりシステムとして一元管理する事が可能となり既に多くのお客様に導入頂いてきた。そして現在、システムや機器のみならず、処理室等もソフトウェアで管理・統合した自動細胞培養設備としてのソリューションを求める声が増している。さらに、全体プロセスを自動化するため設備内に設置された機器やシステム間で使用するマイクロプレート等の容器を自動搬送するモバイルロボットなどのニーズも広がる中で、自動化・効率化を目指す研究エリア全体のコーディネーションとデータインテグリティに期待が高まっており、これらのお客様ニーズに応えるため、この度の設備投資を決断した。

一方、社員数増加に伴うオフィススペースの拡大や、複数の場所に分散している業務を当該新施設 1 か所に集約する事での業務効率化を図り、新製品や新ソリューション開発時のお客様との商談、試作品製作、各種実験・検査のほかショールーム等と多目的に活用することを計画している。

コロナ禍での 2021 年の業績は、装置納入延期も影響し当初計画には届かなかったものの、22 年以降は、国内大手製薬メーカーとの直接取引、米国や中国の医療研究機関との商談も着々と広がりを見せ、3 年後には 2 倍強の売上増（22 年 2 月期約 7.5 億円→25 年 2 月期約 18 億円）を見込んでいる。ライフサイエンス事業のダイバーシティ化に伴い、今後の開発が製品単体から設備全体へと広がり、さらなる開発促進と人員強化も見据えた投資となることを期待している。

【ローツェライフサイエンスについて】

- (1) 社 名：ローツェライフサイエンス株式会社
- (2) 所 在 地：茨城県つくば市上横場 430-1
- (3) 設 立 年 月：2017 年 3 月 ※2001 年 1 月に前身の IS Technology, Inc. は設立
- (4) 事業内容：創薬・再生医療に必要な細胞培養操作におけるライフサイエンス関連装置等、自動化装置の開発設計・製造・販売
- (5) 従 業 員 数：27 名(2022 年 5 月末現在)
- (6) 売 上 高：約 7.5 億円(2022 年 2 月期)

(7) ホームページ：<https://www.rorze-ls.com/>

【移転する新研究施設について】

(8) 敷地面積：約 16,600 m² ※(既存約 800 m²)

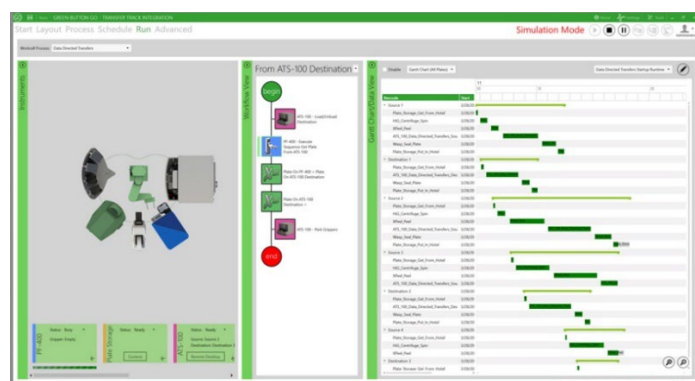
(9)建物延床面積：約 4,800 m² (地階 1,000 m²、1 階 1700 m²、2 階 1,250 m²、3 階 870 m²(実験室/クリーンルーム/執務スペース/会議室/ショールームなどを計画) (既存約 600 m²)

(10)投資金額：¥10 億(土地/建物) ※内装など別途

(11)前所有者：株式会社ミットヨ(つくば研究所として稼働)



画像④新研究施設の外観



画像⑤ソフトウェア Green Button Go™ (※Biosero 社製)



画像⑥モバイルロボット

【お問い合わせ先】

会 社：ローツェ株式会社 (〒720-2104 広島県福山市神辺町道上 1588-2)

担当者：臼井 昌孝(管理部企画室) TEL: 084-960-0205/E-mail: usui.masataka@rorze.com